

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	ボイストレーニング2	
科目基礎情報					
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	ヴォーカリストコース	開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	1単位			授業形態	演習
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	桜田 ヒロキ		実務経験の有無・職種	有・ミュージシャン	
学習目的					
ハリウッド式ボイストレーニング（Speech Level Singingで使われる発声理論）を用いて音域の拡大・音色の改善・声量の増強を目的とする。毎週、学生を数名抜擢して、公開レッスン方式で授業を行いながら、個々が抱える自分の問題点、課題点が何なのかをまず自覚させることを目的とし、その問題の解決方法を学生と共に実践を通じて考えさせる。同時に、授業で行った事をいかに歌(表現)の中で活かすのかを、課題曲等を提示し、その中で実践できるようにする。					
到達目標					
声の発せられるメカニズムの理解・自分の行うべき改善目標の具体化 ・具体化された目標を実際に到達させるためのトレーニングの日常化 ・隔週で個別に声の状態を確認し、常に確なエクササイズの割り当てを目指す					
教育方法等					
授業概要	ハリウッド式ボイストレーニングで個人レッスンを中心に行っていく。毎週生徒を学籍番号順に当て、公開レッスン方式で行っていく。				
注意点	個人差が大きいので、ヒアリングをしっかり行っただうえでレッスンを進めていく。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	30%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	レポート	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	30%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	ヒアリング1		セミナー形式でそれぞれの悩みを聞き、実際に解決。前期に行うメニューのオーバー・ビューを見せる		
2回	ヒアリング2		ボイストレーニングにおける母音の考え方1		
3回	母音についての理解		ボイストレーニングにおける母音の考え方2		
4回	母音、および子音についての理解		母音と子音の考え方		
5回	スケールを理解する		ボイストレーニングにおける音階練習		
6回	G、Dのスケールの理解		音階練習（＃2つまで）		
7回	A、Eのスケールの理解		音階練習（＃4つまで）		
8回	5つのスケールを振り返る		＃4つまでのスケール5つの発声音階練習		
9回	ガイダンス1		エクササイズの割り当て		
10回	音程の理解をさせる		トレーニングにおける音程音階を理解した上で適切な練習曲の選び方を理解する		
11回	正しい発声での音階		課題曲によって音階を感じながら、正しい発声で歌う		
12回	課題曲での確認		トレーニングにおける音程音階を理解した上で適切な練習曲の選び方を理解する		
13回	ガイダンス2		エクササイズの割り当て		
14回	エクササイズの確認		semi-occludedエクササイズの音声学的な解説（リップバブル・ストローエクササイズなど）		
15回	まとめ		トレーニング・メニュー（別紙参照）、エクササイズの割り当て		